

「今月のテーマ」

# 目元老化

見た目年齢を決定づけるのは  
ずばり目元の肌乾燥です

久々に会った相手に「疲れている?」「老けた?」と思わせてしまうのは、ずばり目元の印象がそう見えるから。「衣理クリニック表参道」院長であり、美容皮膚科・内科医でもある片桐衣理先生にお話をうかがったとえ、

「筆者さまのなかでも目元悩みを抱えている人が圧倒的多数。40代から増え始め、50代になってくるとほとんどの人が「目元の老け印象をなんとかしたい!」とおっしゃいます」。和装世代にとっては、ちよつとドキッとすると話です。ではなぜ、目元には老化がいち早くあらわれてしまうのでしょうか。

「目元の皮膚は肌のはかの部位の約3分の1、平均して0.2mmくらいしかありません。かつ皮脂分泌がほとんどないためバリア機能が弱く、ちよつとした摩擦や物理的刺激を受けやすいという特徴が、さらにまばたきで常に動いていて、テリケートな上にとつても過酷

な状態にあるといえます」

シワ、くま、くすみ、たるみ、むくみなど目元悩みは尽きませんが、目元の置かれている状況を見るとそれも当然のこと。だからこそ大人には目元専用のケアが必要なのです。

「アイケアで最も大切なのは、効果が実感できるかどうか。乾燥しやすい人はクリームタイプを選び、ゴシゴシこすったり、引っ張ったりせず、指で押し込むようにします」。なにより忘れてはならないのが、乾燥対策だと片桐先生は言います。

「アイクリームを塗る前に、化粧水をたっぷり入れ込んで、目元の皮膚を潤わせてください。そうでないと、どんないいアイクリームを使っても効果は半減です」

きちんとケアした場合とそうでない場合、1年後には全然違う顔になっている可能性も大きいのだとか! アイケア、あなだれませんか

お話をうかがったのは……  
片桐衣理先生

「衣理クリニック表参道」院長、美容皮膚科・内科医、「バートナードクター」として、いつまでも美しくありたいという女性のために、常に最先端のベストな治療を行う。雑誌やテレビなどでも活躍しながら、化粧品の開発も手がける。  
片桐衣理先生プロフィール

撮影/宮本真季(人物)、戸田基昭(静物)

スタイリスト/高橋美奈

ヘアメイク/高橋美奈

メイク/SHINYA

デザイン/田中久子

構成/建築美学生チリMA DONNA、  
中村松夏子(本誌)